

※※ 2020 年度 入学試験問題 (第 2 回 A) ※※

国 語

注 意 事 項

2 教科入試 (国語・算数)

1. 試験時間は50分間です。
2. 問題は1ページから9ページまであります。
3. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

4 教科入試 (国語／社会・算数／理科)

1. 試験時間は、国語・社会あわせて50分間です。
2. 国語は問題□のみ解答して下さい。
3. 国語の答えは□のみ解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

君たちの生きる未来は、もう始まっています。

でも、それは、お父さん、お母さんたちが子供として育ち、その後、大人として生きてきた「成長社会」^①とは決定的に異なる社会です。

君たちの生きる社会のことを「成熟社会」^②といいます。

A、その「成熟社会」の特徴を「成長社会」との比較で眺めてみることにしましょう。

お父さんたちが生きた「成長社会」では、家々にどんどん新しい製品が入っていきました。

家電品に代表されるのですが、お父さんたちが子供の頃は、まずテレビが、電話が、そして、お母さんたちの家での仕事を楽にする電気冷蔵庫、電気洗濯機、電気掃除機が、というように。五〇年前には、家の中にテレビも電話もなかったんですよ。なぜ「電気冷蔵庫」が喜ばれたかといえば、以前は、電気ではなく重い氷の固まりを入れて庫内を冷やしていたからです。想像できますか？

B、テレビはカラーテレビになり、クーラー（エアコン）とカー（クルマ）の三つを合わせて購入することが、中流家庭の証のようになりました。モノを買って(a)ユタかになることが幸せだと、誰もが信じられた時代だった。だから、モノを作る会社は残らず成長しました。日本の経済社会全体も、その流れに乗って成長し縮小していきました。

「成長社会」では、モノを作るメーカーの価値観が社会を※席卷することになります。「早く」「(b)ヒョウジュン的なもの」を「より安く」「たくさん（大量に）」提供することが一番大事なことです。こうした価値観が多くの人々の心をとらえ、万人にとっての正解のように考えられています。

実際、「テレビは白黒よりカラーの方がよい」とか「エアコンがあつた方が生活は快適」とか「クルマもあつた方がキャンプにも行けるし、なにより便利」というような「万人にとっての正解」が、人生における選択の(c)キョクメンでまだ十分に有効だったのです。

(あ)

C 君たちが生きる「成熟社会」では、「万人にとっての正解」が、だんだん怪しくなってきました。

家電品のような新しいモノたちが家々を占拠してしばらくすると、次々と新製品に買い換えをしていた人々も、そろそろ飽きてくる。すると、す

べての会社が成長する訳ではなくります。

また、新しいモノにお金を出すのをやめて、外食したり、デイズニーランドのようなテーマパークに行ったり。あるいは、塾やスイミングスクールなど、子供の教育に力を入れたり。ケータイでのメールや、パソコンでの中古オークションを楽しんだり。モノよりもサービスにお金を使うようになり、同時に、人それぞれの楽しみ方が多様化していきます。

(5)

人々の望みが③一枚岩ではなくなりましてから、自然と、社会が複雑化していくことになりました。

昔は、おじいちゃんと、お父さんと、その息子の願いは「長生きできる平和な国づくり」で一致していたのに、「成熟社会」では、ときとして、家族のそれぞれの願いでさえも相反する場合が出てきます。

D、金利が低くなるとお父さんは住宅ローンが楽になるから喜ぶけれど、おじいちゃんにとっては年金や貯金の利息が少なくなって嬉しくないとか。お父さんたちの世代の定年を延長して六〇歳より長く勤められるようにすると、息子たちの就職機会が減って、結果的にフリーターやニート（仕事に就かず、学校に行ったり訓練を受けたりもしないでブラブラしている人）が増えるとか。

こうした価値観の多様化や利害関係の複雑化は、日本社会の高齢化と国際化によって(d)カソクされます。

「テレビは見ないでネットですべての情報をゲットする」息子と、「クルマは環境に負荷をかけるから、なるべく自転車を使う」お父さんと、「余生を楽しく過ごすために、テレビもクルマも大好きな」おじいちゃんというように、同じ一家にあっても、さまざまな考えの人々が共存しながら生きていくことになるのです。

(う)

だから、昔は「万人にとつての正解」であったものが、かならずしも正解ではなくなる。むしろ、個人個人が自分自身の価値観に照らして納得のいく「納得解」をもとめる技術が大事になってくるのです。

「正解」ではなく「納得解」。

しかも、その「納得解」は、自分だけの自己満足で決めていいものではなく、関わる他人も納得できるものが望まれることはいまでもありません。

(え)

お父さん、お母さんが生きた「成長社会」。^④とりわけ二〇世紀後半の日本を牽引したのは「^⑤情報処理力」に優れた※ホワイトカラーでした。会社の社員だけではなく、国や地方自治体の官僚たちもです。

「情報処理力」というのは、決められた世界観の中でゲームをするとき、いち早く正解を導き出すチカラ。

記憶の中にいっぱい正解をためておいて、問われた問いに対して、あてはまる正解を探します。「1+1=2」とか。「漢字で『じようほう』ってどう書くの?」や「気体と液体の違いはなんですか?」という質問に、いかに早く答えられるか。あるいは「コロンブスがアメリカ大陸を発見したのは?」と問われて「一四九二年(イヨ一、クニが見えた!)」と瞬時に答えられるかどうか。

テストで採点すれば「見える学力」として現れるチカラですね。

これに対して、君たちが生きた「成熟社会」、つまり二一世紀の日本でより大事になるのは、身に付けた知識と経験と技術を組みあわせて人生を切り拓いていくチカラ、すなわち「^⑥情報編集力」。

「情報編集力」というのは、「正解」よりも「納得解」を導き出すチカラです。

「これとこれを足すと二つになるけれど、三倍おいしいものに変化するようにはならないかなあ」と考えたり、「『じようほう』は漢字で『情報』って書くけれど、『情』に『報』いる。って書くんだから、意外と『ごころを通じさせること』が大事なかもしれないなあ」と感じたり。

「コロンブスがアメリカ大陸を発見したあとに、人々の世界観はどう変わったか?」について自分の頭でイメージできるかどうか。それが、ひいてはイラク戦争の影響や北朝鮮の未来を(え)ヨソクして、自分の仕事や生活と、そうした世界の変化の関係を想像する力にもつながっていきます。

ようは、頭を柔らかく使って、イメージを広げられるかどうかってこと。

^⑦イマジネーションの問題だね。

こちらはテストでの採点が難しいから「見えない学力」とも呼ばれるけれど、本番に強い人、いつも運が良いように見える人、世の中の景気と無関係に元気な人に共通のチカラでもあるのです。

(藤原和博『「ビミョーな未来」をどう生きるか』より)

※出題の都合上、一部表記を改めた箇所があります。

〔語注〕

※席巻………圧倒的に自分の勢力範囲に収めること。

※ホワイトカラー……事務労働者。サラリーマン。

問1 〰〰〰線(a)～(e)のカタカナを漢字で書きなさい。

問2

A

D

 にあてはまる言葉として適切なものを、次のア～オの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア なぜなら イ ついで ウ たとえば エ では オ ところが

問3 線①「成長社会」におけるメーカーの価値観を「〰〰〰という価値観」という言葉につながるように十七字以内で答えなさい。

問4 線②『成熟社会』の特徴を「〰〰〰社会」という言葉につながるように本文中から二十二字でぬき出しなさい。

問5 線③「一枚岩」・④「とりわけ」の語句の意味を次のア～エの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ③ 「一枚岩」
- ア 互^{たが}いを尊重すること イ 広く行きわたること ウ しっかりまとまること エ 数多く存在すること
- ④ 「とりわけ」
- ア 特に イ およそ ウ あらゆる エ むしろ

問6 線⑤「情報処理力」の内容を端的^{たんてん}に表している部分を本文中から十四字でぬき出しなさい。

問7 線⑥「情報編集力」について後の問いに答えなさい。

(i) この言葉と同じ意味でつかわれている言葉を本文中から六字でぬき出しなさい。

(ii) 「情報編集力」が必要である理由について説明した次の一文の

I

Ⅰ

Ⅲ

 にあてはまる言葉を本文中から指定された字数で探し、それぞれぬき出しなさい。

● 「成熟社会」では、価値観が

I (三字)

 しているため、

II (九字)

 よりも

III (三字)

 をもとめる力が重要となるから。

問8 線⑦「イメージネーションの問題」について、成熟社会で必要とされるイメージネーションとはどのようなものですか。「知識」という言葉を必ず使って五十字以内で説明しなさい。

問9 本文中に、本来入るべき熟語が対義語となっているため、意味が通らなくなっている一文があります。その一文を探し、最初の五字をぬき出しなさい。

問10 次の一文が入る箇所を、本文中の (あ) (え) の中から一つ選び、記号で答えなさい。
● 家族内も多様化するわけですね。

4 教科入試の問題はここまでです。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

父ちゃんの船が見つかったという連絡があったのは、父ちゃんがいなくなつて三日目のことだった。やっぱり父ちゃんは帰つてきた！と、おれは喜んだ。けれど港にあつたのは、父ちゃんの※サバニの残骸^{がたい}だった。

おれはこのときはじめて、もしかしたら父ちゃんはもう生きていないかもしれないと思つた。それは頭のほんの片隅^{かたすみ}で思つたことで、多くの部分では、きつと大丈夫^{だいじょうぶ}、いつか帰つてくる、と固く信じていた。けれどどういふわけか、その「①」^①という思いは、その後どんどんどんどん大きくなって、「②」^②を少しずつ侵^{しん}食^{しょく}していった。

身体^{からだ}の中心に、A 穴^{あな}が空いたような喪失感^{そうしつ}があつた。この喪失感をどうしたら埋めることができるのか、どうしたら慣れていけるのか、まるでわからなかつた。

由真^{ゆま}は日中^{ひちゅう}率^{すべ}先^{せん}して友達と遊び、夕方になつて帰つて来ると、父ちゃんがいないと言つて泣いた。悲しい現実^{げんじつ}に一時的^{いちじき}にふたをして遊び、安心^{あんしん}できる我が家で泣くという、由真らしいやり方^{やりかた}だった。由真なりに、父ちゃんのいない現実を受け入れているのだと感^{かん}じた。

母ちゃんはB 耐^たえているように見えた。なにかあれば連絡^{れんらく}がくるからと言つて、いつも通りに照屋^{てらや}さんの※海^{うみ}ぶどうの養殖場^{ようしょくじょう}に手伝いに行った。

「母ちゃんは、父ちゃんのこと心配^{しんぱい}じゃないの！」

由真はそう言つて泣いたけれど、母ちゃんは毅然^{きぜん}としていた。

「父ちゃん帰つてくる。今はあんたたちにご飯^{ごはん}を食べさせることが第一^{だいいち}さ」

母ちゃんが言うのと、由真は、ご飯なんていらぬ！ と怒^{おこ}つたけれど、それでも腹^{はら}は減^へるし、夜^よになつたら眠^{ねむ}くなるのだ。

おれは、孝俊^{たかとじ}と保生^{やすお}が誘^{さそ}つてくれて何度か一緒^{いっしょ}に遊^{あそ}んだけれど、^③でんでだめだった。遊びに夢中^{むちゅう}になつてしまつた、その一瞬^{いっしん}後に父ちゃんのことを思い出しては、すさまじい自己嫌悪^{じこけんお}に陥^{おち}つた。父ちゃんの不在^{ふざい}そのものよりも、父ちゃんのことを少しの間でも忘れて過^{すご}していたという罪悪感^{ざいあくかん}に、自分自身が耐^たえられないのだった。

島中^{しまちゆう}が父ちゃんが戻^{もど}らないことにピリピリして、そして、みんなおれたちにやさしかつた。四日^{よっぴ}が過ぎて、五日^{ごっぴ}が過ぎた。父ちゃんについての情報はなにもなかつた。父ちゃんの(b)生存^{せいぞん}は絶望^{ぜつぼう}的^{てき}だろうと、誰^{だれ}もが思^{おも}いはじめていた。

おれは泣けなかつた。父ちゃんが帰つてくるかもしれないのに、泣いてしまうのは違^{ちが}う気がした。そのくせ、頭のどこかでは、父ちゃんのない生活^{せいかつ}に慣^なれなければいけないのだと、すでに父ちゃんの帰宅^{きたく}をあきらめている自分もいるのだった。

六日^{むっぴ}目^め。おれは家で一人、夕オの家^やから借りた本^{ほん}を読み終^おえた。^④字^じを追^おつていたら、いつの間にか終わつていたのだった。感想^{かんさう}という感想^{かんさう}はなかつたけれど、(c)難^{なん}解^げだったためか、ささやかな達成感^{たっせいかん}だ

けが残った。

ふいに視線を上げると、すだれ越しに夏の午前中の明るい日差しが見えた。反対に、自分がいる部屋のなかは、ほの暗い。ほんの数メートル歩けば、あの日差しの中に入れての、なぜか今おれがいる場所から、すだれの向こうはとても遠くて、^⑤別世界のよう気がした。

父ちゃんは今、どこにいるのだろう。どこかの島に漂着して、洞窟のなかから外の日射しを見つめている父ちゃんの姿が、C頭に浮かんだ。それは今の自分と同じ状況だった。父ちゃんは船を見つけて急いで洞窟から出て、大きく手を振るのだ。船が気付いて、父ちゃんを^(d)無事に救出する。

そこまで想像して、おれは勢いよく立ち上がってすだれをめくった。刺すような夏の光が飛び込んできて、思わず目を伏せる。^⑥そうだ、夕オの家に行こう。手元の本を返して、新たにべつの本を借りよう。たとえ夕オがいなくても、アンナがいるだろう。

台所で顔を洗って、外に出た。なんだか自分が自分でないような、心と身体が一致しないような感覚だった。それを振り払いたくて、おれは夕オの家まで力いっぱい走っていった。

「本貸して」

出てきた夕オに、息を切らしたまま玄関先で言うと、夕オは無表情で、どうぞ、となかに入るように促した。おじさんもアンナもいないようだった。

汗だくのおれに、夕オが[※]さんびん茶を出してくれたので、一気に

二杯飲んだ。

「好きな本を持ってついでいいよ」

夕オはそう言ったきり、なにやら難しそうな本を読んでいた。おれは、なるべく字が大きくて薄い本をさがした。国語の授業で、名前を聞いたことのある作家の本が何冊かあったので、とりあえずそれを借りることにした。字は小さかったけれど、それほど厚くなかった。

「ありがとう。じゃあな」

「あ、ちよつと待って」

帰ろうとしたところ、夕オに呼び止められた。

^⑦「おじさんのこと」

「うん、ああ。大丈夫。どうもありがとう」

夕オに、父ちゃんのことでもなぐさめられるのはDこなかつたし、できればその話題には触れてほしくなかつた。夕オだけは、いつも通りにどこか超然としていてほしかった。

「待ってよ、^{ゆきと}征人。話があるんだ」

夕オに再度、呼び止められた。

「なに」

[※]「ドゥヤーギーのことだ」

^⑧ふつ、と鼻から息が漏れた。こんなときにドゥヤーギーの話をするの、夕オなのだ。

「^{征人}。ドゥヤーギーの力って知ってるか？」

「力？ なんのことか？」

「死者を生き返らせる力だ」

一瞬の間のあと、おれは大きな声を出していた。

「父ちゃんのことかっ！ タオは、おれの父ちゃんが死んだと思ってるんか！」

タオはおれの目をじっと見つめ返した。

「もう丸五日経った。海で遭難そうなんしたときの生存率は……」

「言うなっ！」

そんなことわかってる。ちゃんとわかっている。ぜんぶわかっているんだ。おれだって、父ちゃんはもう生きていないかもしれないと、どこかで思っている。でもそれを、自分以外の誰かに言われるのは嫌いやなのだ。

「これを見てくれ」

タオが差し出したのは、古ぼけて茶色っぽくなった紙の束(e)だった。

「お父さんの資料から見つけたんだ。ドゥヤーギーのことが書いてある」

タオんちのおじさんは民俗学みんぞく者だ。この島の神事や民話について調

べているらしい。

「だから、なにして！」

紙の束から目をそむけて、おれは言った。

「ドゥヤーギーの体毛を手に入れることができれば、死者が生き返るんだ」

おれは目をむいて、タオを見た。そしてそのまま、タオの家をあとにした。

(柳月美智子「14歳の水平線」より)

※出題の都合上、一部表記を改めた箇所かしよがあります。

〔語注〕

※サバニ……琉球列島りゅうきゅうで古くから使われている漁船めいしやうの名称。

※海ぶどう……クビレスタかひせうという海藻の一種。食用となる。

※さんぴん茶……ジャスミン茶のこと。

※ドゥヤーギー……島の古くからの言い伝えにある妖怪まじか。

問1 〜〜線(a)〜(e)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問2 A 〽 D に当てはまる言葉として適切なものを、次のア〜オの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア ふと イ じつと ウ かちんと エ ぴんと オ ぽっかりと

問3 ① ・ ② にあてはまる言葉を本文中からそれぞれ六字でぬき出しなさい。

問4 線③ 「てんでだめだった」の内容を具体的に表している部分を探し、十一字でぬき出しなさい。

問5 線④ 「字を追っていたら、いつの間にか終わっていたのだった」という行動の理由について説明した次の一文の I 〽

Ⅲ にあてはまる言葉を本文中から指定された字数で探し、それぞれぬき出しなさい。

●父ちゃんが I (十一字) という期待と II (十四字) という絶望の中で、 III (五字) から目をそむけるために本を読んでいたか
し。

問6 線⑤ 「別世界のような気がした」と同様の心情を表している一文を本文中から探し、最初の五字をぬきだしなさい。

問7 線⑥ 「そうだ、タオの家に行こう」と征人が考えたのはタオがどのような人物だからですか。分かりやすく説明しなさい。

問8 線⑦ 「おじさんのこと」とありますが、タオはこのとき何を話そうとしていましたか。分かりやすく説明しなさい。

問9 線⑧ 「ふつ、と鼻から息が漏れた」とありますが、このときの征人の心情を次のア〜オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 拍子抜け イ 激怒 ウ いらだち エ 滑稽 オ 心外

帝京八王子中学校

二〇二〇年度 入学試験問題
解答用紙(第二回A)

国語

受験番号

氏名

一

問10	問9	問8	問7			問6	問5	問4	問3	問2	問1
			② ①				③			A	(a)
			③ ② ①				④				か
										B	(b)
										C	(c)
										D	(d)
											(e)

4教科入試の答えは同じです。

二

問9	問8	問7	問6	問5			問4	問3	問2	問1
				III	II	I		②	A	(a)
								①		
									B	(b)
									C	(c)
									D	(d)
										(e)

得点
点

という価値観

社会

帝京八王子中学校

二〇二〇年度 入学試験問題
解答用紙(第二回A)

国語

受験番号

氏名

模範解答

問1	(a)	豊	か	(b)	標準	(c)	局面	(d)	加速	(e)	予測
問2	A	工	B	イ	イ	C	オ	D	ウ		
問3		製品を安く大量に提供する			人々が共存しながら生きて						という価値観
問4		い			く						社会
問5	③	ウ	④	ア							
問6		いち早く正解を導き出す									千カラ
問7	(i)	見えない学力									
	(ii)	多様化									
	III	納得解									
問8		身に付けた知識と経験と技術を組み合わせて									
		想像する力。									
問9		日本の経済									
問10		(う)									

4教科入試の答えはここまでです。

問1	(a)	そっせん	(b)	せいぞん	(c)	なんかい	(d)	ぶじ	(e)	たば
問2	A	オ	B	イ	C	ア	D	エ		
問3	①	もしかしたら								
	②	きつと大丈夫								
問4		自分自身が耐えられない								
問5	I	帰ってくるかもしれない								
	II	もう生きていないかもしれない								
	III	悲しい現実								
問6		なんだか自								
問7		無表情でいつも超然としている人物								
問8		ドウヤーギーの体毛を手に入れることができれば征人の父親を生き返らせられること。								
問9	ア									
	エ									

得点	点
----	---

- 問1、各2点 問2、各2点 問3、3点 問4、3点 問5、各2点 問6、3点
 問7、(I)3点 (II)各2点 問8、5点 問9、3点 問10、2点
 問1、各2点 問2、各2点 問3、各3点 問4、3点 問5、各3点
 問6、3点 問7、4点 問8、4点 問9、3点(完答)

2020年度 入学試験問題（第2回A）

算 数

注 意 事 項

2教科入試（国語・算数）

1. 試験時間は50分間です。
2. 問題は1ページから6ページまであります。
3. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

4教科入試（国語／社会・算数／理科）

1. 試験時間は、算数・理科あわせて50分間です。
2. 算数は問題 **1** ・ **2** ・ **3** のみ解答して下さい。
3. 算数の答えは **1** ・ **2** ・ **3** のみ解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

1 次の にあてはまる数を入れなさい。

(1) 時速60kmの速さで 秒走ると300m進みます。

(2) 7%の食塩水が200gあります。この食塩水に水を g加えると、2%の食塩水になります。

(3) うるう年は4で割り切れる年ですが、400で割り切れず100で割り切れる年は平年となります。2020年は西れき1年から数えて 回目のうるう年になります。

(4) ある年の3月3日は日曜日です。この年の5月5日は 曜日になります。

(5) 3で割っても5で割っても2余る3けたの数のうち、最も大きい数は になります。

(6) 角形の内角の和は 1980° になります。

〈計算らん〉

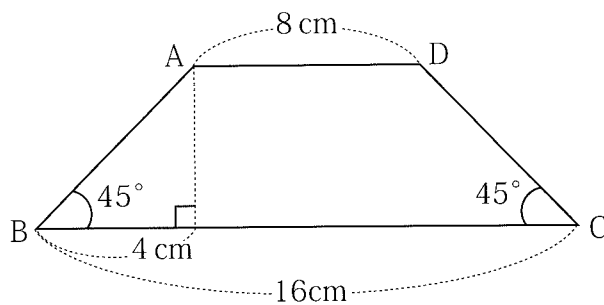
2 ある夫婦が家の掃除をします。1人で掃除をすると、夫は40分、妻は1時間かかります。
次の問いに答えなさい。

(1) 夫と妻の1分間当たりの仕事量をもっとも簡単な整数比で答えなさい。

(2) 2人で掃除をすると、何分で終わることができますか。

〈計算らん〉

- 3 下の図はADとBCが平行である台形です。次の問いに答えなさい。



- (1) 台形 ABCD の面積は何 cm^2 ですか。
- (2) 頂点 D を出発して、頂点 A まで毎秒 1 cm で点 P が動き、頂点 B を出発して、頂点 C まで毎秒 1.5 cm で点 Q が動きます。点 P, Q が動き始めてから 4 秒後の四角形 PQCD の面積は何 cm^2 ですか。

〈計算らん〉

4 教科入試の問題はここまでです。

4 次の にあてはまる数を入れなさい。

$$(1) \{(8 \times 4 - 3 \times 9) \times 7 - 15\} \div \frac{2}{3} = \text{ }$$

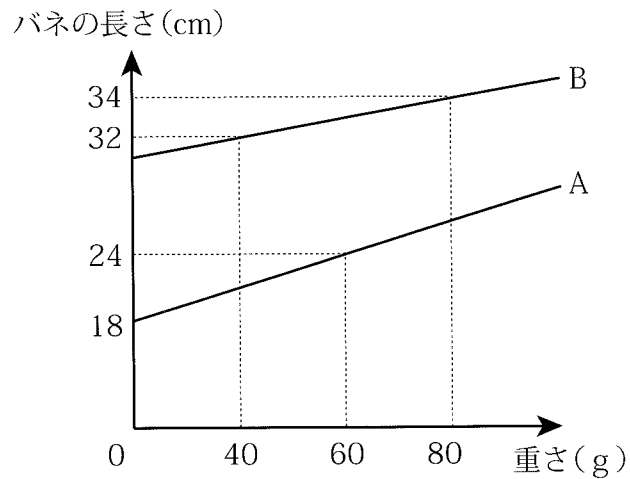
$$(2) \left(\frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} + \frac{1}{16} \right) \div \frac{1}{32} = \text{ }$$

$$(3) 0.5 \times (1.2 - 0.04 + 2.8 - 0.16) \div \frac{1}{4} = \text{ }$$

$$(4) 5 \times \left(\text{ } - 2 \right) - 4 \div \frac{1}{7} = 12$$

〈計算らん〉

- 5** 重さに比例してのびるバネA、Bがあります。下のグラフはこれらのバネに、おもりをつるしたときのおもりの重さと、バネの長さの関係を表したものです。次の問いに答えなさい。



- (1) 40gのおもりをバネAにつるしたときの長さは何cmですか。
- (2) おもりをつるさないときのバネBの長さは何cmですか。
- (3) 同じ重さのおもりをつるして、バネAとバネBの長さが同じになるのは、何gのおもりをつるしたときですか。

〈計算らん〉

6 0～3までの数字が一つずつ書かれた4枚のカードがあります。この中からカードを3枚取り出すとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 3けたの整数はいくつできますか。
- (2) 3けたの偶数はいくつできますか。
- (3) 3けたの4の倍数はいくつできますか。

〈計算らん〉

帝京八王子中学校

2020年度 入学試験問題
解答用紙 (第2回A)

算数

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1	(1)	秒	(2)	g	(3)	回目	(4)	曜日
	(5)		(6)	角形				

2	(1)	:	(2)	分
---	-----	---	-----	---

3	(1)	cm ²	(2)	cm ²
---	-----	-----------------	-----	-----------------

4教科入試の答えはここまでです。

4	(1)		(2)		(3)		(4)	
---	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

5	(1)	cm	(2)	cm	(3)	g
---	-----	----	-----	----	-----	---

6	(1)	個	(2)	個	(3)	個
---	-----	---	-----	---	-----	---

得点	
点	点

帝京八王子中学校

2020年度入学試験問題
解答用紙 (第2回A)

算数	受験番号		氏名	模範解答		

1	(1)	18 秒	(2)	500 g	(3)	490 回目	(4)	日 曜日
	(5)	992.	(6)	13 角形				

2	(1)	3 : 2	(2)	24 分
---	-----	-------	-----	------

3	(1)	48 cm ²	(2)	28 cm ²
---	-----	--------------------	-----	--------------------

4	(1)	30	(2)	30	(3)	7.6	(4)	10
---	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	----

5	(1)	22 cm	(2)	30 cm	(3)	240 g
---	-----	-------	-----	-------	-----	-------

6	(1)	18 個	(2)	10 個	(3)	4 個
---	-----	------	-----	------	-----	-----

各5点

得点	
点	点